



ROTARY CLUB OF OMIYA WEST

2014～2015年度 大宮西ロータリークラブ週報

創 立：1963年3月22日	会 長 伊田雄二郎	第2432例会	2015/ 6/ 8
例会場：パレスホテル大宮	幹 事 新井 清太	発 行 日	2015/ 6/15
例会日：月曜日12:30～13:30	会報委員長 高橋真貴子	会 報 当 番	高橋真貴子

会長あいさつ

会長 伊田雄二郎

皆さんこんにちは。
6月と言うと梅雨ですが、現在近畿地方まで梅雨入りしており関東の梅雨入りも、もう直ぐと言った感じです。梅雨になりますと体調を崩し易くなりますのでご注意ください。



本日は、新藤プログラム委員長のご推薦により田中光四郎様に「日本人武道家の見たイスラム社会」と言うお題で卓話を頂きます。日本人でイスラム教を信仰している方は、ごくごく少数なので一般的には遠い存在にありますが、エネルギーの分野においては世界の中心的な役割を果たしている地域ですし、最近ではイスラム過激派の報道が頻繁にされ怖いイメージをお持ちの方も多いと思います。実際にその地域に滞在されていた方のお話を聞いてイスラムと言う物を勉強したいと思っております。田中様宜しくお願いします。

また、田口修身会員ご推薦の関根正美様にも御出で頂きました。関根様ようこそ！関根様に付きましては先週の理事会で入会が満場一致で承認されました。来月のご入会を心より楽しみにしております。そしてもうお二人埼玉栄高校インターアクト担当の萩原先生と小峯先生にもご出席頂いております。お客様の皆様に於かれましては、気楽にロータリーの例会を楽しんでください。

最後にお願ひです。6月14日の献血の参加者が非常に少ない状況です。今一度お願い申し上げますので参加の方宜しくお願いします。

それでは本日も宜しくお願いします。

お客様ご紹介 新見和男 副会長

日子流体術・小太刀宗師	田中光四郎 様
埼玉栄高等学校インターアクトクラブ	
顧問教師	萩原 奏恵 様
顧問教師	小峯 麻衣 様
有限会社関根商会 代表取締役	関根 正美 様
米山記念奨学生	潘 威(ハンイ)君

お客様ご挨拶

埼玉栄高等学校
インターアクトクラブ
顧問教師 萩原奏恵 様



この度はお招き頂きましてありがとうございます。今月20日に大宮ソニックシティ大ホールにて定期演奏会を行わせて頂きます。

今年は新1年生が83名入りまして、部活も193名と大所帯になってまいりました。

昨年12月はアメリカ・シカゴに演奏旅行にいきました。そこでもホームステイなどさせて頂きまして生徒にはとても良い経験をして参りました。その経験を活かしまして定期演奏会でもより良い演奏が出来るように頑張っておりますので、宜しくお願い致します。

お申込み頂きましたチケットですけれども入場整理券となっております。当日座席引換券がございましてそちらとの引き換えになりますので、ぜひお忘れのないように宜しくお願い致します。

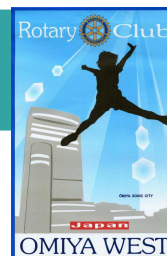
また、今後共埼玉栄高校インターアクトクラブを宜しくお願い致します。

知恵と行動そして親睦

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4F

TEL. 048-871-8881 FAX. 048-871-8882

E-mail: info@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/





埼玉栄高校インターアクトクラブ顧問教師萩原奏恵様(左)に伊田雄二郎会長から定期演奏会チケット代+αが渡されました。

米山記念奨学生

潘 威(ハン イ)君



最近の話をしましょうか。先日、米山記念奨学旅行に千葉県鴨川に行きました。三十数名の方と行き、楽しい時間を過ごし、とても楽しかったです。31日、文教ロータリアンアクトとしてボランティア活動をしました。朝から、ゴミ拾い、老人ホームの訪問など、このような活動をして来ました。これからも奨学生としてロータリアンアクトとして活動していきたいと思っています。いつもお世話になり有り難うございます。



幹事報告

幹事 新井清太



- ◆ 6月1日 さいたま大空RCのチャリティーコンサートに希望者数名が行ってまいりました。
 - ◆ 6月4日 IM実行委員会最終会議がございました。
- チャリティーゴルフのポリオ寄付額は
307,040円でした。

- ◆ 6月9日 大宮北RCへ会長幹事にて表敬訪問します。
- ◆ 6月10日 第4グループ最終会長幹事会開催。

ご結婚おめでとう！

副SAA 田口友香会員からご結婚のご報告がありました。



伊田雄二郎会長(左)から田口友香会員にお祝い
の花束を贈呈

ゲスト卓話

日子流体術・小太刀宗師
田中光四郎 様



テーマ「日本人武道家の見たイスラム社会」

田中光四郎です。高い所から御無礼申し上げます。

今朝も2時半に起床し3時から7時過ぎまで稽古して参りました。長年このような稽古中心の生活を続けていますと“いざ死ぬるべき時に死ぬるか”と云うのが武道家にとりまして最後のテーマとなります。その覚悟が自分にあるか？と云う自分自身への存在確認の為に稽古を続けて来たと言っても過言ではありません。

私は日本という国が大好きで、そして日本の文化である大和魂(サムライスピリット)を世界の人々に広めたいと云う願望が有りまして今まで50数ヶ国を歩かせていただきました。指導要請を依頼されるのは外国の軍隊や特殊部隊が殆どでありますので、私の名前は日本では余り有名ではありません。

冒頭の紹介にも有りました通り、私はアフガニスタンで6年余りを戦いました。

10年間の戦争で、最終的に民間人を含む約10万人の死者500万人以上の難民を出しました。私自身

も最前列で共に戦ったムジャヒディンの仲間52人を埋葬致しましたし、帰国してからは貿易関係の仕事が順調でしたので、得た利益で難民救済のため何度も訪れました。

その間、ワシントンDCのペンタゴンにも3度も呼び出されました。彼等はソ連の戦い方が知りたかったし、支給した自分達の武器の威力を確認したかったのです。しかし停戦後もアフガン国内は安定せず、貧しさ故に使わなくなった武器類がイスラム過激派を通じて中東諸国に流れて行ったのです。イラク戦争の時も現地に行き義勇兵を志願しましたが、アラブ人しか兵士にはなれませんでしたので人間の盾となりました。

今年の1月にシリアで二人の日本人がISILに拉致され殺害されたニュースは皆様ご存知の筈です。彼等の内一人はジャーナリストと報道されておりましたが、イスラムの国において女性や子供の写真を撮る事は、彼等の戒律に反している行為で余程の信頼関係が無ければ有りえません。我々から見ると残虐と思える行為も彼等にとってはイスラムの戒律に則った立派な裁判なのです。国や信仰するものが違えば自ずと常識も変わってまいります。自分と人の見解が違えば争いも生じます。それが民族・国家間であれば紛争・戦争にも発展する事もあります。自分達の利益だけで無く大切な事はまず相手の立場も考える事なのではないでしょうか。

武道とは戈(ホコサキ)を止める道と書きます。人を殺める術を学んでも最後の最後まで使わない。使う時は自分も腹を切る覚悟で命を賭けて使う。外国人が日本のサムライやニンジャに憧れる理由は案外とこんな理由なのかも知れません。何故なら彼等は何時争いが起きるやも知れぬ国々で生活している人間だからです。

本日は、私の拙い話にお付き合い頂きましてありがとうございました。



田中光四郎様(左)と伊田雄二郎会長



スマイル報告
小林政良、田口友香、
副SAA

* ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ *